

# 今年度の取組内容について

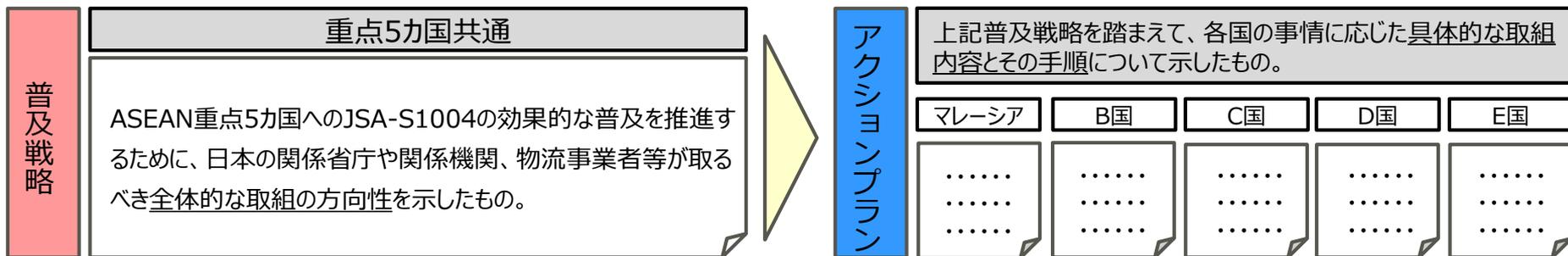
---

国土交通省  
総合政策局 参事官（国際物流）室

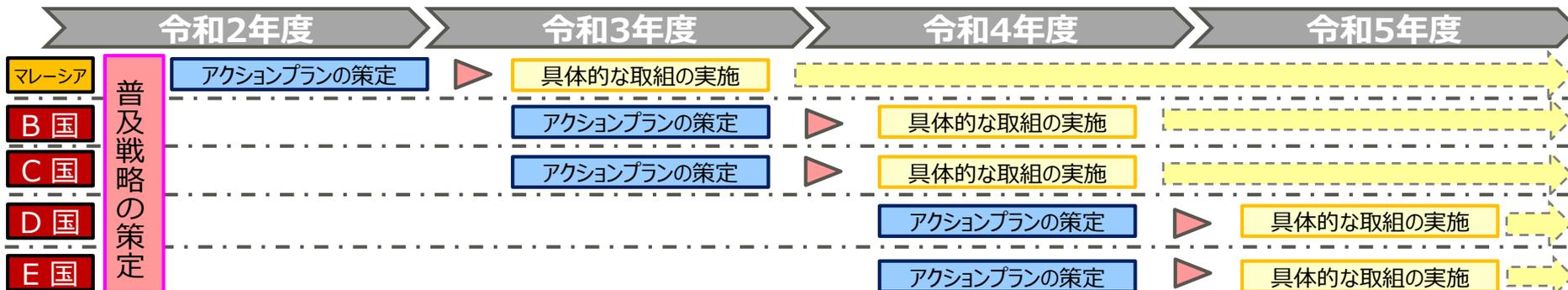
# 本事業の概要

- JSA-S1004のASEAN各国への普及を推進するため、令和2年度より、**国内検討委員会**を設置し、**包括的な普及戦略**及び**国別のアクションプラン**の策定に向けた議論を開始。
- 策定した戦略及びアクションプランに基づき、**ASEAN重点5か国（インドネシア・タイ・フィリピン・ベトナム・マレーシア）**へ本規格の普及に向けた具体的な取組を実施。
- ASEANコールドチェーン物流市場における**現地物流事業者のサービス品質の向上**に加え、**我が国物流事業者の競争優位性の確保・海外展開の促進**が期待。

## 目指すアウトプット



## スケジュール



# ASEANにおける日本式コールドチェーン物流に関する普及戦略（概要）

## 1. 背景

- ASEANではコールドチェーン需要が高まる一方で、
  - ✓ 温度管理が不十分な物流サービスが散見
  - ✓ 健康被害や輸送途中での食料廃棄が問題
  - ✓ 我が国の物流事業者が強みとする高品質なサービスが荷主から選ばれにくい環境



- こうした状況を踏まえ、
  - ✓ ASEANにおける社会問題の解決
  - ✓ 我が国の物流事業者の海外展開の支援
 に資する取組の一つとして、「**日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン**」や「**JSA-S1004**」を策定

## 2. 本普及戦略について

- 重点5カ国（インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア）における**コールドチェーン物流サービスの品質の向上を目的として、日本式コールドチェーン物流サービス規格の普及を効果的に進めていくための取組の方向性**を定めるもの

## 3. 基本方針

### I 荷主・消費者に対する周知・啓発

- ✓ 温度管理による鮮度保持、食品の安全や衛生管理等、**コールドチェーン物流の重要性を啓発するためのPR活動の実施**
- ✓ 日本式コールドチェーン物流サービスの有用性を示すための実証輸送の実施 等

### II 重点国政府等による積極的な関与の促進

- ✓ 重点国政府に対し、**規格認証取得のためのインセンティブの付与の検討についての働きかけ**
- ✓ 政府間対話を通じた情報交換、課題の把握、政策立案の支援、専門家派遣等を通じた人材育成等の実施 等

### III 規格の認証体制の整備

- ✓ 「**JSA-S1004認証審査ガイドライン**」の策定
- ✓ 日ASEAN交通連携の枠組みにおいて、上記ガイドラインを「日ASEANコールドチェーン物流認証審査ガイドライン」として承認
- ✓ 現地の認証機関を対象とした認証体制整備の支援
- ✓ JSA-S1004と各国及びASEAN全体の規格との**相互承認制度の構築**の可能性の模索 等

### IV 物流事業者による規格の認証取得の促進

- ✓ 日系の物流事業者におけるJSA-S1004の認証取得の推進
- ✓ **JOINの枠組みを通じ、日系物流事業者の展開を支援**
- ✓ 二国間物流ワークショップ等を活用した現地物流事業者に対するコールドチェーン物流の重要性の訴求、認証取得の呼びかけ
- ✓ 業界団体等にアプローチし、**現地の規格普及の推進体制の構築** 等

## 4. 今後の取組について

- 本普及戦略に基づき、**重点5カ国各国の事情を踏まえた具体的な取組内容とその手順を示した国別のアクションプラン**の策定
- 日本式コールドチェーン物流サービス規格のさらなる普及を目指して、**JSA-S1004をISO規格として提案するなど、国際標準化活動の実施**

# マレーシアにおけるアクションプラン (概要)

## 1. 現状

### (1) コールドチェーン物流市場

- GDP成長率はここ10年間 5%前後と安定した経済成長で推移。
- 電子レンジ普及率41.9%、冷蔵庫普及率99.0%(ともに2020年)で重点5カ国の中で最も高い割合。
- 冷蔵冷凍食品消費量は2025年には20年比で10.4%増加予測。

### (2) コールドチェーン物流サービスを提供している主な物流事業者

- 日系物流事業者：郵船ロジスティクス、国分グループ本社、山九、ニチレイロジグループ本社、日立物流
- 現地物流事業者：BIFORST GROUP、TEH CHEETA、Tiong Nam Logistics Holdings

## 2. 普及戦略における方針ごとの取組

### I 荷主・消費者に対する周知・啓発

- ✓ ワークショップやセミナー、メールマガジンの配信等を通じて、規格の普及が社会課題の解決に貢献することをアピール【国交省、農水省、JETRO】
- ✓ マレーシア標準局主催のセミナー等において、主要な荷主に対するコールドチェーン物流サービス規格の必要性を訴求【国交省】
- ✓ 2022年度までに実施する実証輸送において、日本式コールドチェーン物流サービスの有用性を検証し、荷主・消費者にPR【国交省、物流事業者】

### III 規格の認証体制の整備

- ✓ 2021年3月までに策定予定の「JSA-S1004認証審査ガイドライン」をマレーシア政府に提供し、認証体制の整備を促進【国交省、認証機関】
- ✓ 現地認証機関を対象としたセミナー等を通じ、より多くの認証機関が審査できるよう、認証体制の構築を促進【国交省、認証機関】
- ✓ マレーシアが策定する国家規格とJSA-S1004との相互承認制度の構築の可能性について、マレーシア政府と議論【国交省、日本規格協会、認証機関】

### II 重点国政府等による積極的な関与の促進

- ✓ 2021年度に計画しているマレーシア運輸省との二国間政策対話を通じ、国家規格の早期策定の働きかけ【国交省、日本規格協会、物流事業者】
- ✓ 関連する官民フォーラム等を通じて、マレーシア運輸省以外の政府機関にコールドチェーン物流の重要性の訴求【国交省、農水省、経産省、JETRO】
- ✓ 2022年度までに実施する実証輸送において、食料廃棄の削減、食品の安全性向上、温室効果ガスの排出等における有効性を示し、政府の理解を促進【国交省、物流事業者】
- ✓ 認証取得した物流事業者に対する補助金や税金控除などの優遇施策を導入するようマレーシア運輸省等への働きかけ【国交省】
- ✓ 認証取得事業者を日ASEAN交通連携のホームページ等において優良事業者として公表【国交省】等

### IV 物流事業者による規格の認証取得の促進

- ✓ 2021年度に開催を計画しているマレーシアの物流事業者が参加するワークショップ等において、規格の重要性を認識させ、メリットを明示した上で、認証取得を促す【国交省、物流事業者】
- ✓ 2022年度までに実施する実証輸送において、食料廃棄の削減、食品の安全性向上、温室効果ガスの排出等における有効性を示す【国交省、物流事業者】

## 3. スケジュール (想定)

- マレーシアにおける国家規格の策定には、12~18ヶ月程度要する。
- 2021年度以降、マレーシアにおける規格の策定状況に合わせて、関係省庁、関係団体、物流事業者等と連携して各取組を実施。

- 国土交通省は、我が国の物流事業者が高まるアジア諸国の物流需要を取り込むため、日本の高品質なコールドチェーン物流サービス等の規格化や普及に向けた取組を推進。
- 2018年に、国際標準化機構(ISO)において日本提案によるプロジェクト委員会(PC315)が設立され、BtoCを対象とした小口保冷配送サービスのISO規格化に向けた日本主導による議論を開始。2020年5月に**日本が提案した初のサービス規格であるISO23412**が発行された。また、同年6月には、**BtoB分野におけるコールドチェーン物流サービス規格であるJSA-S1004**が日本規格協会より発行された。
- 引き続きコールドチェーン物流サービスの国際標準化を推進するため、日本は同年8月に**新たな技術委員会(TC: Technical Committee)の設置をISOへ提案し、2021年1月に正式に承認**された。
- 2021年6月、**TC315第1回総会**がオンラインにて開催され、**今後の組織体制の検討や各国による規格開発提案**が行われた。

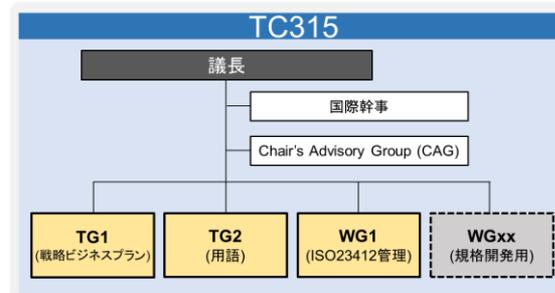
## TC315について

- ◆ **委員会名： Cold Chain Logistics**  
幹事国：日本  
議長：根本 敏則（敬愛大学経済学部教授）
- ◆ **参加国：** Pメンバー17か国、Oメンバー13か国  
※Pメンバー：投票権あり、Oメンバー：投票権なし（オブザーバー）

## 国内体制について

- ◆ **国内審議委員会：**  
委員長：森 隆行（流通科学大学名誉教授）  
委員：国交省、経産省、農水省、厚労省、物流連、JILS、日本倉庫協会、日本冷蔵倉庫協会、日本物流システム機器協会、日本海事協会、日本冷凍空調工業会、日本通信販売協会、物流事業者、物流機器メーカー等
- ◆ **戦略委員会(コアメンバー)：**  
国交省、経産省、物流連、日本海事協会、ニチレイロジグループ本社、郵船ロジスティクス、ヤマト運輸
- ◆ **事務局：** 日本規格協会

TC315体制図



第1回総会では、議長の諮問グループであるCAGおよびTC315の戦略ビジネスプラン（TC設置目的や関連分野の現状、標準化によりもたらされる恩恵等について記載したものを）を策定するTG1、用語について定めるTG2の設置が決定された。また、各国による規格の開発提案についても順次進めていくこととした。

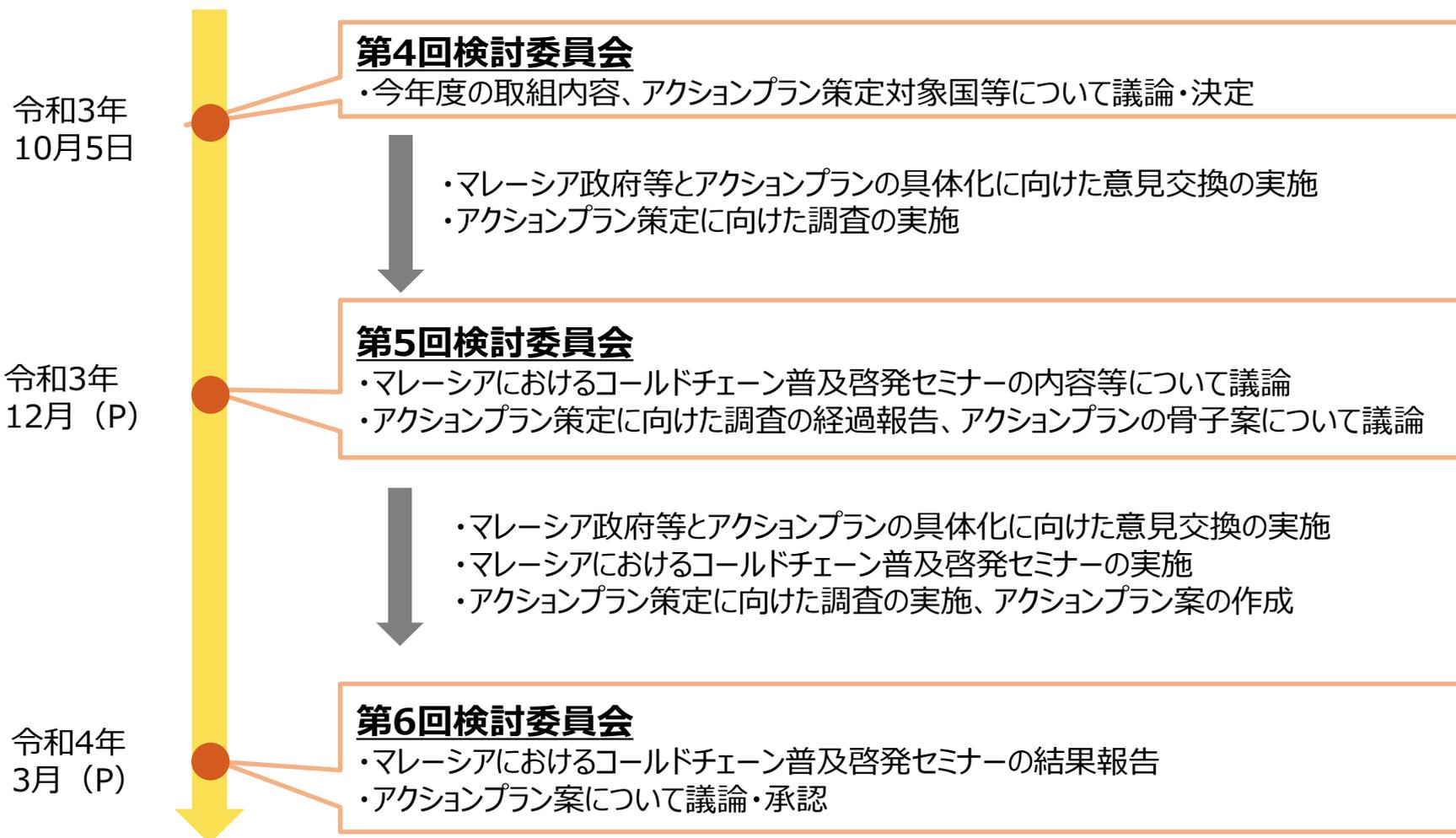
## 各国による規格開発提案

- 日本：**  
BtoB分野におけるコールドチェーン物流サービス(JSA-S1004)
- 中国：**  
非接触物流、用語と定義、分類、公衆衛生、トレーサビリティ
- 韓国：**  
温度管理のための包装・車両・保管に関する評価・管理、用語と定義

<今後の予定>

- 2021年12月or2022年1月 (P) 第2回国内審議委員会
- 2022年 2月 第2回総会（以降、半年に1回のペースで総会を開催）

- 令和2年度に策定したマレーシアにおけるアクションプランに基づく取組を進める。  
⇒国交省とマレーシア運輸省等との間で具体的な取組について話し合う推進協議会を設置。
- 新たに2カ国のアクションプランを策定する。  
⇒アクションプランの検討にあたり、対象国政府・標準化機関や日系物流事業者等に対する調査を実施。



# (参考) ASEAN関係のスケジュール (令和3年度)

令和3年度	4月～9月	10月～12月	1月～3月
規格普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>★マレーシア・アクションプランの具体化に向けたマレーシア政府等との調整</li> <li>★2カ国のアクションプラン策定のための調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★10月 第4回検討会@オンライン</li> <li>★12月 (P) 第5回検討会@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1月 (P) コールドチェーン普及啓発セミナー (仮称) @オンライン</li> <li>★3月 (P) 第6回検討会@オンライン</li> </ul>
認証制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>★7月1日 第4回検討会 (運輸総研との連携)</li> <li>★7月～9月 ASEAN各国の物流担当行政官との間で「日ASEAN認証審査ガイドライン」ドラフトを議論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★10月～12月 (P) 第5回検討会 (運輸総研との連携)</li> <li>★10月 日ASEAN交通円滑化WG (TFWG) (@オンライン) においてドラフトの承認</li> <li>★11月 日ASEAN交通大臣会合 (@オンライン) においてガイドラインの承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1月～3月 (P) 第6回検討会 (運輸総研との連携)</li> </ul>
政策対話・WS等	<ul style="list-style-type: none"> <li>★9月 日フィリピン物流政策対話・ワークショップ@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★12月 (P) 日マレーシア物流政策対話・ワークショップ@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1月 (P) 日ASEAN物流専門家会合@オンライン</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★5月/7月 SGH財団人材育成事業 (ラオス国立大、ホーチミン交通大) @オンライン</li> <li>★7月 2020年度フェーズ2 JICA研修「アジアにおける持続的な物流システムの構築」@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★11月 2021年度 JICA研修「アジアにおける持続的な物流システムの構築」@オンライン</li> </ul>	
実証輸送		<ul style="list-style-type: none"> <li>★コールドチェーン物流サービスの展開に関するパイロット事業</li> <li>★サプライチェーンの多元化を支える物流の構築に関するパイロット事業</li> </ul>	
ISO/TC315	<ul style="list-style-type: none"> <li>★5月 第1回国内審議委員会@オンライン</li> <li>★6月 第1回総会@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★12月or1月 (P) 第2回国内審議委員会@オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★2月 第2回総会@オンライン</li> </ul>